

他自治体ヒアリング訪問時の主な回答

【導入方式について】

- ・ GHP は年一回の点検を行っている。消耗品の交換は業務内だが修繕は業務外 (B 市)
- ・ 事業方式はスケジュールを優先した。(D 市)
- ・ 職員負担軽減も事業方式の検討の際には考慮した。(D 市)

【エアコン導入による成果】

- ・ 暑い時期でも授業に集中できるようになった。(A 市・D 市・E 市)
- ・ 体育授業の次の授業への集中力は増した。(E 市)
- ・ 夏場の食欲には良い影響がある。(E 市)
- ・ 児童・生徒の健康面での心配が減り、教員の負担は軽減している。(D 市)
- ・ 面談なども快適に行え、夏季休業中の面談が実施しやすくなった。(A 市・E 市)
- ・ 夏季休業中の部活動の休憩場所・補講等で利用できる。(E 市)
- ・ 暖房をエアコンに変えたことで運用面での効率化ができた。特に小学校は女性の教師も多く、灯油の運搬が少なくなり、負担が軽減された。(C 市・D 市)

【エアコン導入における課題】

- ・ 2階の廊下の窓を開けておくと室外機からの熱風が入り込み、むっとする。(A 市)
- ・ 校舎の向きによって冷えにくい教室がある。(A 市)
- ・ 近隣からの室外機騒音等についての苦情は2件あったが、教員が早朝出勤する場合に運転を行うと苦情が出るケースがある。(D 市)
- ・ 設置直後は氷蓄熱方式の室外機の夜間動作音について、近隣からの苦情があった。(C 市)

【管理運営について】

- ・ 休み時間などの継続運転可否について、他市の調査で30分程度の停止であれば継続運転を行ったほうが光熱費が安くなる報告があり、当市でも短時間であれば継続運転を許容している。(A 市)